学校番号	３２０

令和３年度　音楽科

教科	芸術	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ソルフェージュの観点から、聴く、演ずる、創るという音楽の諸活動を通して、音楽における知識と技能を身につけてほしいと考えている。
・学習の到達度は、提出物（楽譜）と実技テストで評価する。
・音楽の学習は、実際に音楽に接することによりなされるもので、とくに他者とアンサンブルすることにより、より深まっていくものである。
・音楽を指導できる技能を身につけてくれることを期待している。

2　学習の到達目標

音楽を構成する諸要素を正しくとらえ、音楽的に表現するための基礎的能力を養う。正確に楽譜を読める力や音楽を聴く力を身につけることは必要であるが、さらに能動的に音楽表現ができるように努める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	楽曲に興味を持ち、主体的に歌唱や楽器で表現する態度を持っているか。	楽譜を読み、それを歌唱やピアノなどの楽器で的確に表現することができるか。	ピアノなどの楽器を演奏する技術を身につけたかどうか。	演奏される旋律を正確に聴き取り、それを記譜することができるか。
評価方法	観察	観察	観察	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	視唱	基本的な視唱 4小節 ハ長調	○	○	○		a.　積極的に歌唱しようとしているか。 b.　楽譜を正しく読み、表情豊かに歌唱することができるか。 c.　リズム・音高を正確に再現できるか。	観察
		応用的な視唱 8小節 イ短調 ト長調 ヘ長調 ホ短調 ニ短調	○	○	○		a.　積極的に歌唱しようとしているか。 b.　調号や臨時記号を理解し、楽譜を正しく読み、表情豊かに歌唱することができるか。 c.　リズム・音高を正確に再現できるか。	観察
	聴音	基本的な聴音 4小節 ハ長調		○		○	d.　演奏される旋律を正確に聴き取りとることができるか。 b.　旋律を正しく記譜することができるか。	観察 ワークシート
		応用的な聴音 8小節 イ短調 ト長調 ヘ長調 ホ短調 ニ短調		○		○	d.　演奏される旋律を正確に聴き取りとることができるか。 b.　調号や臨時記号に気をつけながら旋律を正しく記譜することができるか。	観察 ワークシート
2学期	視唱	2声の視唱 2声で書かれた旋律を2人で視唱する。	○	○	○		a.相手の歌唱を聞きながら、積極的に歌唱しようとしているか。 b.楽譜を正しく読み、表情豊かに歌唱することができるか。 c.リズム・音高を正確に再現できるか。楽譜を正確に読み、それを歌うことができるか。	観察
	聴音	2声の聴音など 簡単な2声の聴音 和声の聴音		○		○	d.　演奏される異なる旋律や和声の響きをそれぞれ正確に聴き取りとることができるか。 b.　調号や臨時記号に気をつけながら旋律を正しく記譜することができるか。	観察 ワークシート
	視奏	簡単な視奏 応用的な視奏	○	○	○		a.積極的に視奏しようとしているか。 b.旋律を表情豊かに演奏することができるかどうか。 c.楽譜を正確に演奏しているか。	観察
3学期	視唱・視奏	歌・器楽を含んだ視唱・視聴によるアンサンブル	○	○		○	a.楽曲を積極的に表現しようとしているか。 b.音楽的に表現に工夫が見られるか。 d.他者の演奏を聞きながらそれにふさわしいアンサンブルを工夫しているか。	観察

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。